



1 4日目8区

富永陽一選手



1 1日目特別3区

入江田吉文選手



1 1日目特別1区

渡邊文弥選手

写真提供：南日本新聞社



2 手打ちそばに挑戦

2 手作りのそば粉でそば打ちに挑戦！

野方小学校の6年生は、地域の方々の協力の下、そばづくりに取り組みました。

9月に畝作り^{うね}をしてそばの種を蒔き、12月にそばの実を収穫しました。

この収穫したそばを粉にして、2月14日（木）そば打ちに挑戦しました。

生徒らは、地域の方に指導いただきながら、こねたり、のぼしたり、切ったりして一生懸命作りました。

手作りのそばは、モチモチしていてとても美味しかったと喜んでいました。初めて体験する児童も多く、そば打ちは大好評でした。



1 駆け抜けた4名の町出身者！

県内12地区の選手が5日間、計53区間588.6キロにわたって薩摩・大隅路で健脚を競う鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月16日（土）にスタートしました。

今回は60回の節目を祝って初日第1区に特別4区間が設けられ、中学生男子、女子、シニアの選手が出場しました。

本町から初日の特別1区に渡邊文弥選手（大崎中学校2年）、特別3区に入江田吉文選手（大崎町教育委員会）が出走しました。また、2日目3区と5日目7区にそお鹿児島農協の児玉貴洋選手が出走。2日目9区、と郷土入りとなる4日目8区に、国分自衛隊の富永陽一選手が出走し、熱戦を繰り広げました。

4名の町出身者が出場した沿道には、職場や地域の方々が多数応援に駆けつけていました。